

(仮称) 第一こども園施設建設事業について

第一幼稚園の認定こども園化は、待機児童解消へ向けた取組のひとつとして、平成28年度から29年度にかけ検討したものの、当時の保護者の反応や費用対効果などを含め、総合的に判断し、認定こども園化への移行を一旦保留した経緯があります。

当時とは、第一幼稚園を取り巻く状況は変化しており、現在では老朽化や園児数が年々減少傾向にあるという課題を抱えています。また、共働き世帯の増加などの要因から、保護者のニーズも多様化しています。

近接する大山保育園においても老朽化や保育室の不足、送迎用駐車場の確保などの問題があります。

両園が抱える課題を解決し、保育の受け皿を確保しつつ、保育園の適正配置・整備を進めるため、第一幼稚園と大山保育園を統合し、令和8年4月の開園を目標に、(仮称) 第一こども園を建設するものです。

1 補正予算額

検討委員会委員謝礼・食糧費	348千円
基本構想・基本計画策定委託事業	7,700千円(R4~R5債務負担行為)

2 基本構想・基本計画について

公立の認定こども園建設に向けて、施設の果たすべき役割をはじめ、大山保育園を統合することの基本的な考え方などの施設のコンセプト、建物の配置案等を検討します。

3 これまでの経緯

- ・平成28年度 第一幼稚園の認定こども園化を検討
- ・平成29年7月 認定こども園化の保留を決定
- ・令和2年3月 「第2期小牧市子ども・子育て支援事業計画」策定
幼児教育・保育サービスを充実させるため、保育園の適正配置・整備について、検討を進めることとし、第一幼稚園については、既存の公立保育園の適正配置等に考慮しながら、認定こども園化を含めて総合的に検討することとした。

- ・令和2年度 こども・子育て会議の中に「小牧市立第一幼稚園のあり方に関する検討部会」を設置し、3回に亘る議論を経て、令和3年2月に市に「報告書」が提出された。報告書では、「園舎の老朽化への対応を含め、今後の施設形態については市が責任を持って判断すべき」との報告を受けた。

4 今後のスケジュールについて

- ・令和4年度～令和5年度 基本構想・基本計画の策定
- ・令和5年度～令和6年度 建設工事基本設計・実施設計
- ・令和6年度～令和7年度 建設工事
- ・令和8年度 令和8年4月開園（予定）